

10月の進路選択の目標を達成するために

残り半年のスタートである10月の目標として、

1. 志望校と言える学校を増やし、それぞれの入試要項を手に入れよう。
2. 志望校の合格に必要な条件を知り、自分の現状との差を把握しよう。

を前号の進路だよりで掲げました。今号ではその目標達成に必要な行動について考えましょう。

私立高校を第1志望でも第2志望以降でも志願する人は、各高校が示している出願に必要な成績的な基準と自分の成績との間に、どれくらいの差があるのか把握する必要があります。それを把握する方法は、その私立高校の入試要項（募集要項とも言います）を理解することです。

入試要項を読むポイント

(1) 募集定員

今回の入試で募集する入学者の数を示しています。科別やコース別に示されることもあります。

(2) 出願方法

現在はほとんどの学校でインターネット出願を実施しています。その後、書類を印刷して郵送することが多いです。出願日指定による高校の窓口出願の場合は、必ず担任の先生に知らせてください。

(3) 出願期間

高校が出願を受け付ける期間を示しています。都立高校は中学校が出願書類を郵送するのに対し、国立・私立高校は出願者が必要な書類を郵送します。郵送するときは、「簡易書留（かんいかきとめ）」という取扱方法を指定されることがあり、その場合は郵便局窓口での差出票の記入が必要です。

また、「消印有効（けしいんゆうこう）」と書かれている場合は、その当日の郵便局の営業時間までに持ち込み、当日の引受消印（ひきうけけしいん）が必要であると伝えて差し出すことで、出願期間に間に合わせることができます（ポストへの差し出しでは当日の消印にならないことがあります）。ただし、それは最終期限であり、通常は出願期間内で余裕をもって差し出すようにしてください。

(4) 提出書類

多くは入学願書や志願票と、調査書を指定されます。調査書は今度の進路説明会で説明されますが、簡単には学習活動の成果や学校生活等での様々な活動について書かれた文書のことです。高校ごとに異なる形式が用意されている場合もありますが、都立高校に提出する形式と同じでよい場合が多いです。「公立高校提出用のもの」などと入試要項に書かれていたら、中学校に調査書の作成を依頼するときには、できるだけ都立用のものを指定して依頼してください。

(5) 受験料

インターネット出願の際に、クレジットカードや銀行振込を指定して支払うことが多いです。そのため、インターネット出願のときには、保護者の方の情報端末で出願してください。

(6) 試験日

一般入試（併願優遇を含む）は、試験日を選択できる場合があります。複数の私立高校を受験する場合は、2月10日・11日を中心とする受験日程を整理し、高校ごとに受験日を設定する必要があります。ただし、志願するコース等によって、試験日が指定される場合もあるため、注意が必要です。

(7) 試験内容

推薦入試は作文・面接、一般入試は国語・数学・英語と認識されることが多いですが、必ずしもそうではありません。教科の試験を実施する推薦入試や、社会・理科の試験や作文・面接を実施する一般入試も少なくありません。どんな試験内容なのかは、志望する段階で確認しましょう。

(8) 入試相談基準・出願資格

ここには、志望校を決める段階で重要な情報が書かれています。3年次（＝3年生の1年間）または3年間全体での欠席、遅刻、早退などの上限日数や、成績基準が示されています。この基準を達成していないと、残念ながら出願することができません。参考になる1学期の成績は通知表で見ることができますが、欠席等の日数を知りたい場合は、担任の先生に尋ねましょう。

こんなにある！杉並区の上級学校(2)

私立高校

女子美術大学附属高等学校

杉並区和田1-49-8



専修大学附属高等学校

杉並区和泉4-4-1



中央大学杉並高等学校

杉並区今川2-7-1



東京立正高等学校

杉並区堀ノ内2-41-15



日本大学第二高等学校

杉並区天沼1-45-33



日本大学鶴ヶ丘高等学校

杉並区和泉2-26-12



高等専修学校

野田鎌田学園杉並高等専修学校

杉並区上荻4-29-8

